

佐賀駐屯地宿舎工事について

九州防衛局
令和8年4月

1 計画概要

整備目的

- 佐賀駐屯地の隊員及びその家族のために新たに建設する宿舎（以下「佐賀駐屯地宿舎」という。）は、大規模災害等が発生した場合に非常勤務に従事する隊員用として整備するものです。

計画地周辺の状況

- 計画地は、佐賀市南部の田園地域にあり、また、計画地の南部の有明海では海苔養殖が営まれています。
- 計画地前面道路の飯盛戸ヶ里港線は、農業用車両が多く走行しています。



飯盛戸ヶ里港線



西側からの撮影



西側からの撮影

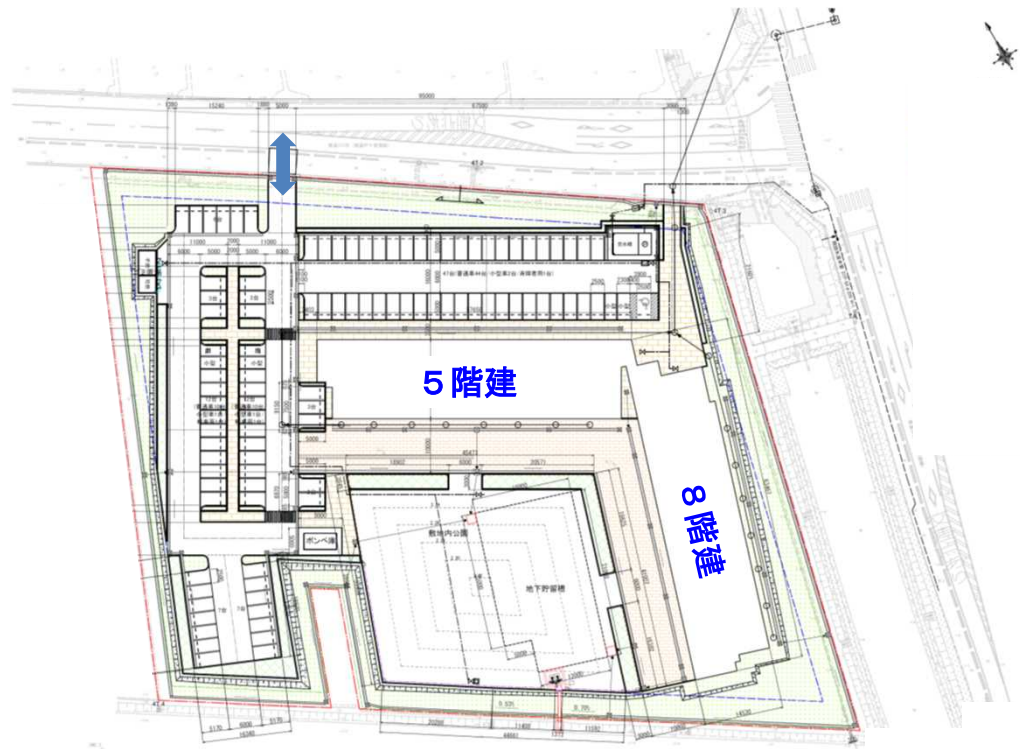


東側からの撮影

2 配置計画・建築概要

周辺地域を考慮した整備計画①

- 周辺地域の穀物の生育に与える影響を可能な限り小さくするため、隣地境界線から5m程度セットバックし、かつ、建物の配置を南北方向と直交する東西方向に配置し、また、建物の階高を2.8mと低く抑えることによって、冬至の実日影を最小となるよう計画しました。
- さらに、海苔漁期期間中のコンクリート打設は行わない計画とするため、構造をプレキャストコンクリート造及び木造を採用しています。



配置図



パース図 (イメージ)

- ◆ 概要 : 3LK 80戸
- ◆ 構造規模 : プレキャストコンクリート造一部木造
- ◆ 建築面積 : 約1,300㎡
- ◆ 延床面積 : 約6,200㎡
- ◆ 建物高さ : 約23m (8階建)、約15m (5階建)

※本資料は検討段階のものであり、今後の検討により変更があり得る。

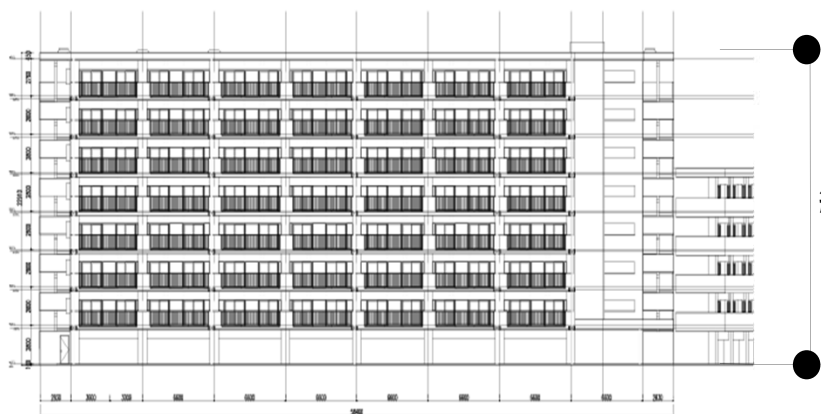
3 近隣施設との建物の高さの比較

周辺地域を考慮した整備計画②

- 佐賀駐屯地宿舎の計画建物の高さは、最高約23mと低く抑えています。

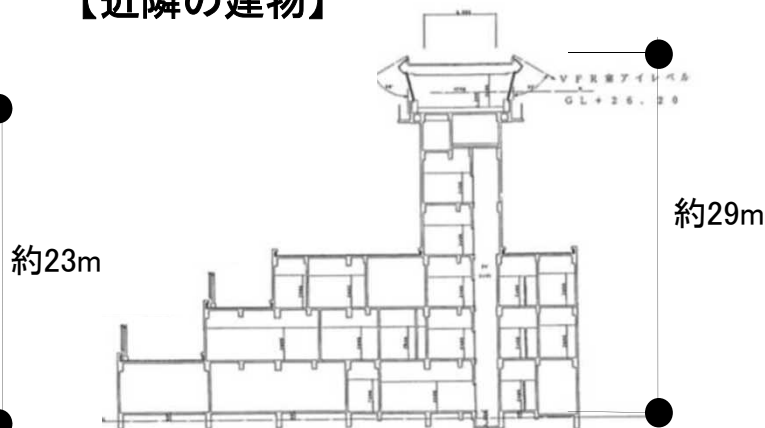
近隣施設との建物の高さの比較

【計画建物】

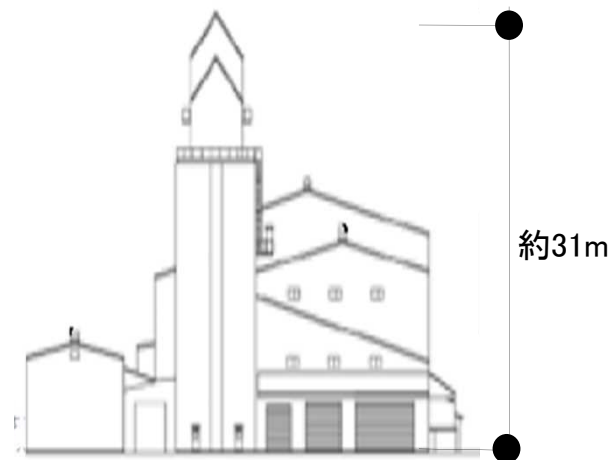


佐賀駐屯地宿舎
最高高さ：約23m

【近隣の建物】



佐賀国際空港 管制塔
最高高さ：約29m



川副南部CE
最高高さ：約31m



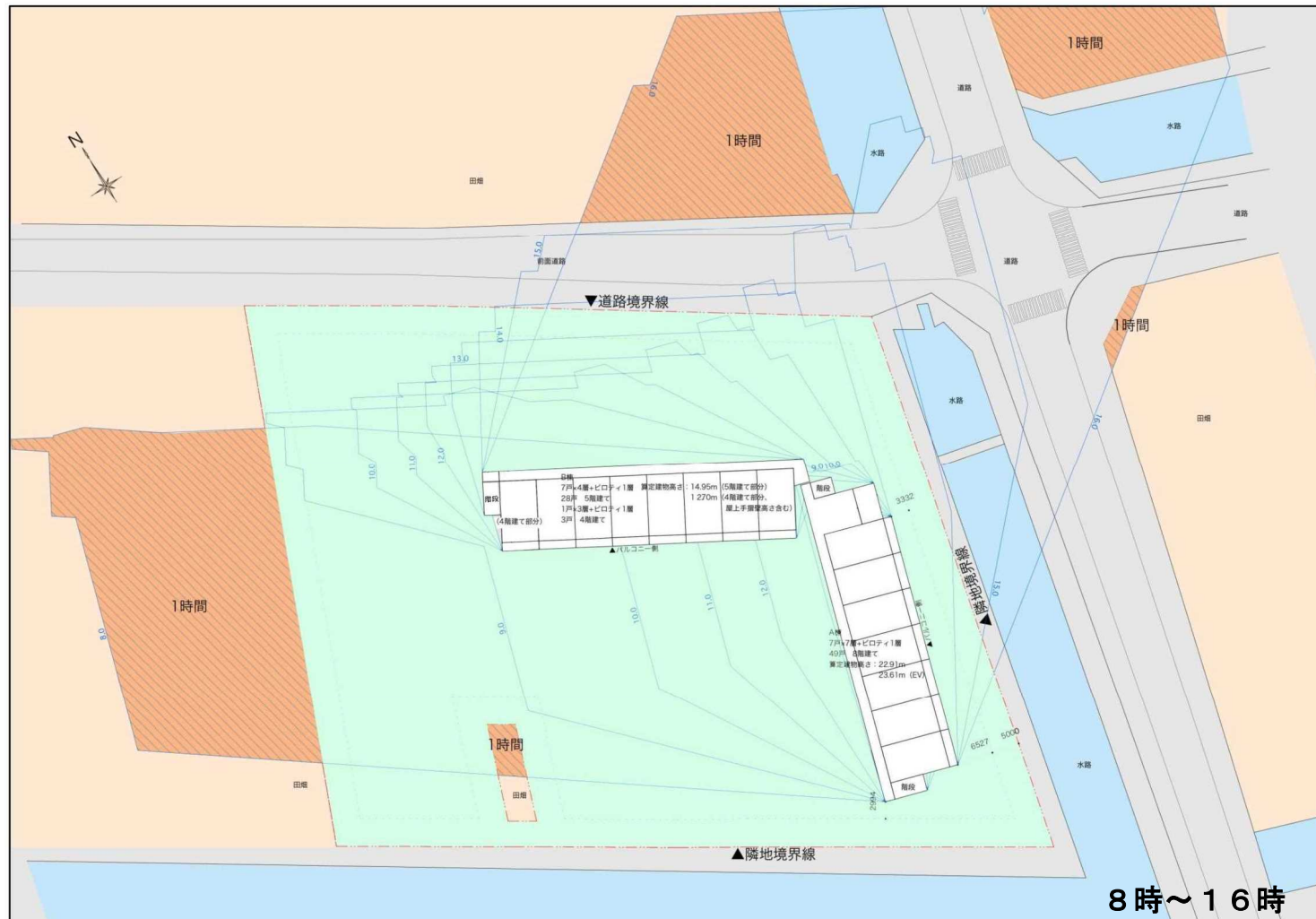
※図はイメージです



4 1時間当たりの日影の推移

周辺地域を考慮した整備計画③

- 周辺地域の穀物の生育に与える影響を可能な限り小さくするために、法規制は無いものの敷地境界線からの冬至の日影時間を1時間以内に抑えるよう計画し、冬至の実日影（現状地盤からの日影）を最小となるよう計画しました。



※本資料は検討段階のものであり、今後の検討により変更があり得る。

田畑に影が落ちる予想部分

5 周辺の照度環境について

周辺地域を考慮した整備計画⑤

- 計画建物の照度計算の結果、0.5ルクス以上の照明範囲は敷地内等に収まっており、敷地外へ影響が出ない計画としています。
- また、照明設備は虫が寄り付きにくい照明（LED）で計画しています。



【根拠】

- ◆ 大豆は、夜間の照明で生育が遅延し、成熟期が極端に遅れるなど、農作業、生産性に大きな障害を及ぼすことが知られている。

0.5ルクス以上になると開花、成熟期が遅延して問題を生じる。

(2002年3月農業気象災害対策技術集佐賀県農業技術防除センターより)

- ◆ 終夜照明により主茎長（草丈）が長くなり、稔実莢数（実の入った莢数）は5ルクス以上で減少する。成熟期まで夜間照明を続けた場合、5ルクス以上で減収し、11ルクス上で品質の低下が大きくなる。

(2001年度研究成果九州沖縄農業研究センター)

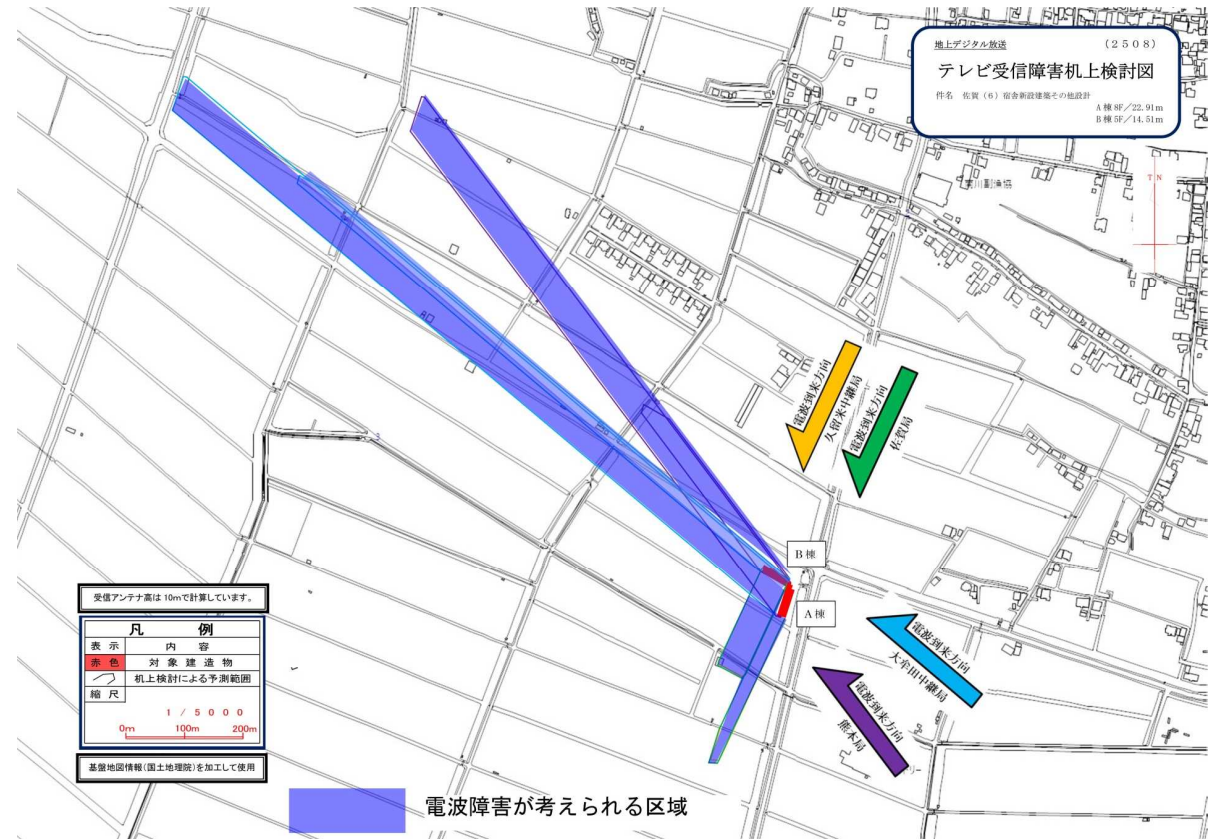
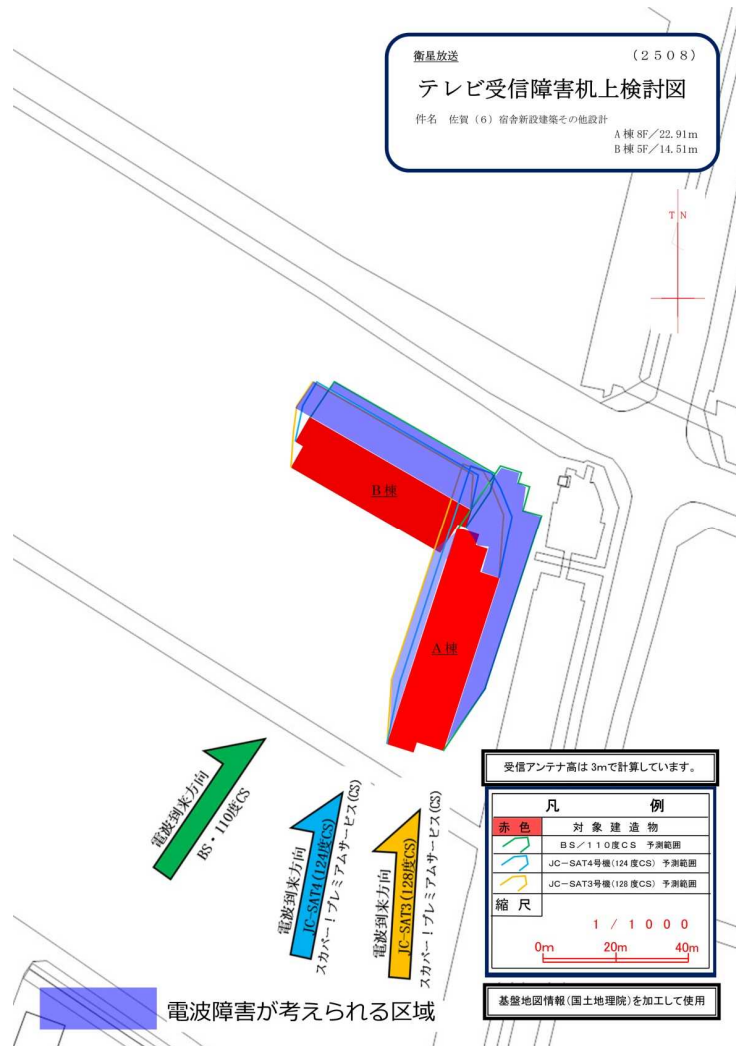
※本資料は検討段階のものであり、今後の検討により変更があり得る。

外灯等の照明照度

6 テレビ電波障害について

周辺地域を考慮した整備計画⑥

- 各放送局について、受信障害が考えられる区域を示しています。今回の整備計画においては、近隣住宅等への影響はないものと考えていますが、建設工事において影響が生じた場合は対策を実施します。



※本資料は検討段階のものであり、今後の検討により変更があり得る。

7 排水対策について

周辺地域を考慮した整備計画⑦

【工事中の排水対策】

- 施工区域内に降った雨水は、仮設沈砂池に一旦貯め、濁水処理を行い、工事着手前と同量とするため、水量調整を行った上で、水路に排水する計画です。
- ノリ漁期間中は、生コンクリートの打設工事は行いません。



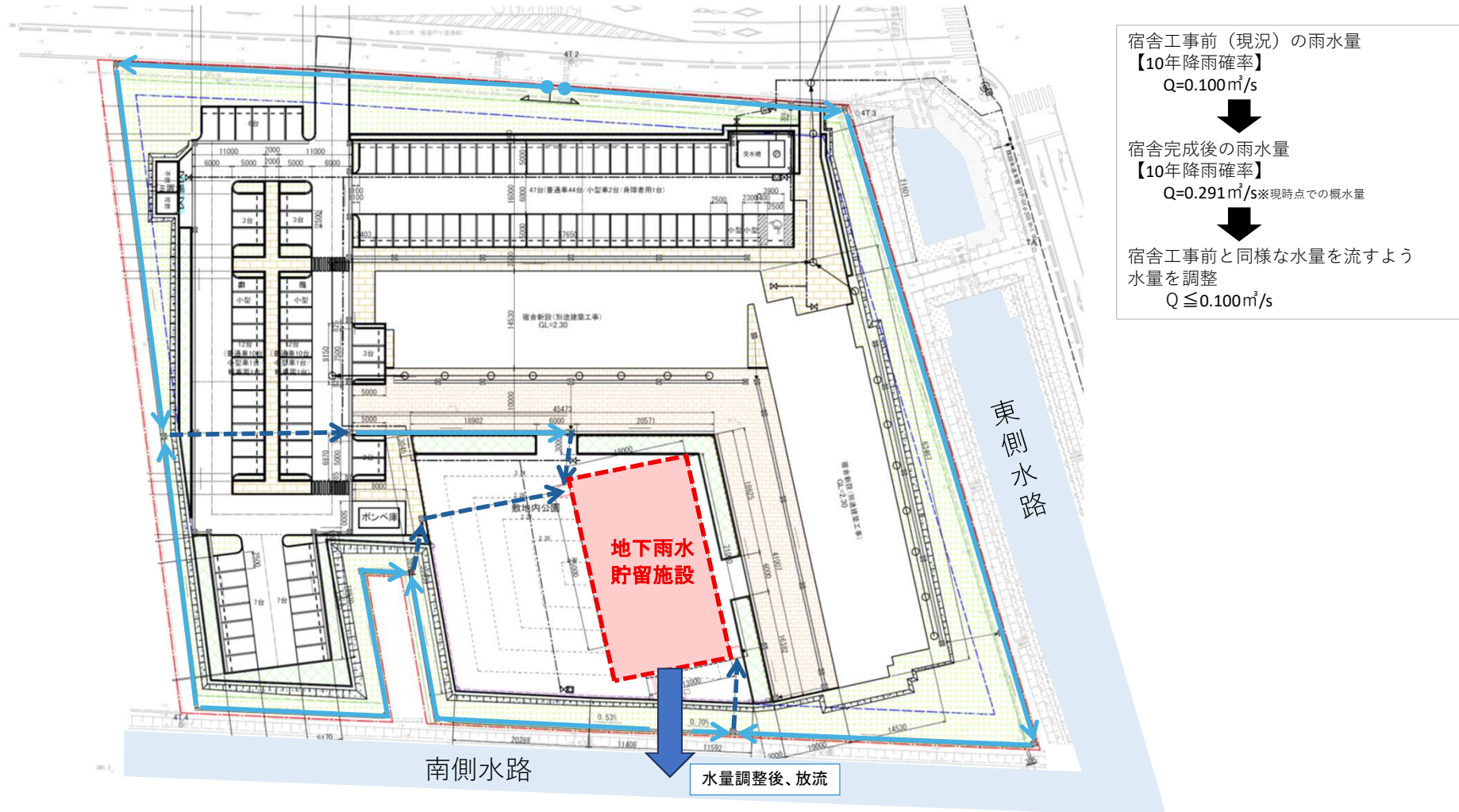
※本資料は検討段階のものであり、今後の検討により変更があり得る。

7 排水対策について

周辺地域を考慮した整備計画⑦

【宿舎完成後の排水対策】

- 生活雑排水及び汚水は汚水処理施設へ排水する計画です。
- 敷地内に降った雨水は側溝を介して、地下雨水貯留施設に一旦貯め、南側水路へ排水する計画です。
- なお、排水にあたっては、工事着工前（畑）と同様な水量で排水するよう調整することとしています。

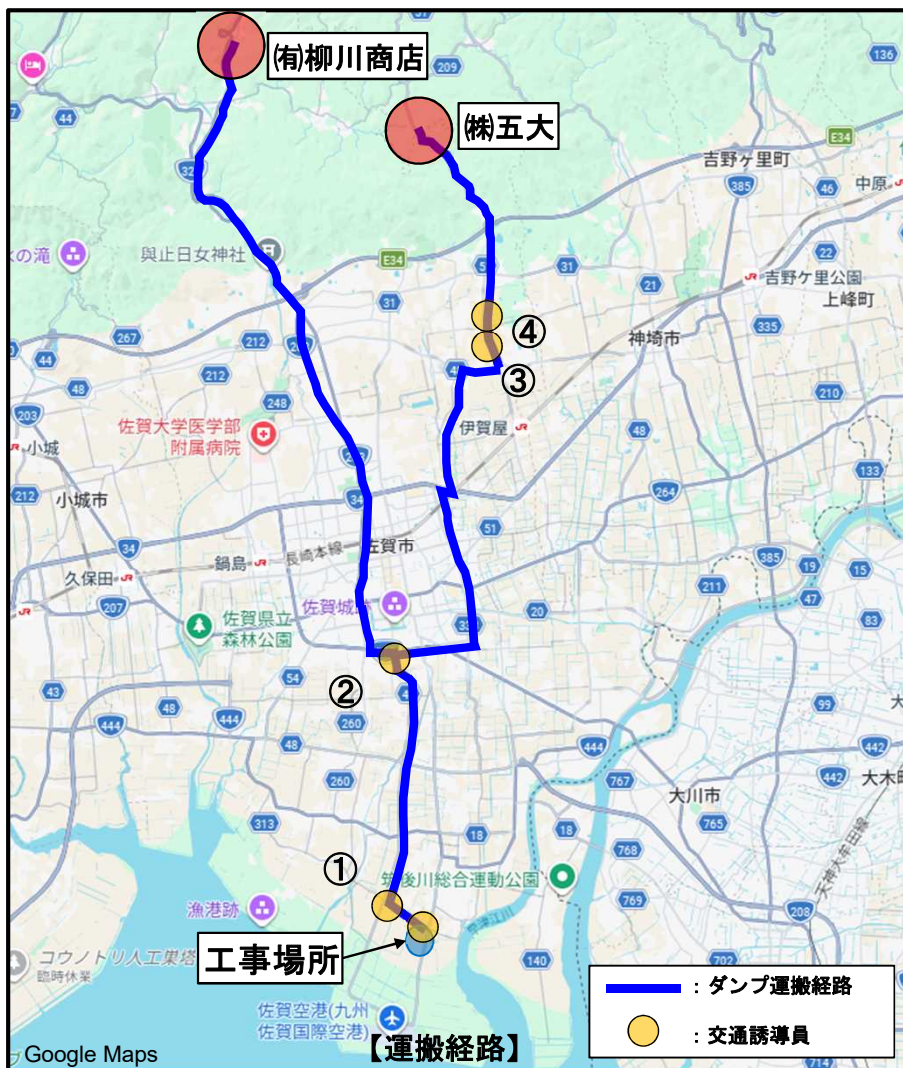


※本資料は検討段階のものであり、今後の検討により変更があり得る。

8 土砂運搬にかかる運搬経路等

ダンプトラックの運搬経路について

- ダンプトラックの運搬は、子供の安全確保や通勤への影響を最小限とするため、通勤通学時間帯を踏まえ、7時から8時30分までは資材運搬は行いません。
- (株)五大、(有)柳川商店の2ヶ所から運搬を予定しています。
- なお、土砂搬入は令和8年8月以降に予定しています。



【交通誘導員】

配置場所	配置人数	時間帯	備考
①	1名	9:00~17:00	横断歩道 (信号機有・見通し良好)
②	1名	9:00~17:00	自転車横断帯 (信号機無し)
③	1名	8:30~17:00	横断歩道(信号無)
④	1名	8:30~17:00	横断歩道(信号無)

【運搬台数】運搬土量 約1.2万m³

	運搬台数/日	搬入予定回数/日	延べ運搬台数/日	運搬期間
五大	最大13台	3~4回	最大52台	約4ヵ月
柳川	最大13台	3~4回	最大52台	約4ヵ月

※ 上記については、現時点の予定であり、今後変更の可能性があります。
 ※ 夜間に運搬する計画はありません。

9 現場仮設計画

- 工事着手にあたっては、周辺に工事用フェンス及び仮設沈砂池を整備し、その後、造成工事を実施した後、建物等の工事を実施する計画です。



使用機械の例



- ※ 工事用ゲートについては、実施状況により県道313号沿いに追加する場合がある。
- ※ 土砂搬入に係るダンプトラックは、原則、右折入場、左折退場とする。

10 工事中の環境保全対策及び安全対策

- 工事中に発生する粉塵、振動及排出ガスに対し、周辺環境への影響を低減するための対策を行うとともに、交通安全や渋滞に対する対策も行います。

粉塵対策

- ◆ 工事区域外へほこりが飛散しないよう、外周に仮囲い（高さ3m程度）を設置するとともに、施工中は適宜散水をおこなうこととし、防塵対策に努めます。
- ◆ 工事区域の出入口において、工事車両はタイヤ洗浄を行い、一般道路を泥で汚さないよう努めます。必要に応じて、前面道路の清掃を実施します。

排出ガス対策

- ◆ 工事で使用する重機は、排出ガス対策型建設機械を使用します。
- ◆ 不必要な高速運転を抑制します。

騒音振動対策

- ◆ 工事で使用する重機は、低騒音及び低振動型の重機を使用します。
- ◆ 稼働していない重機及び車両はアイドリングストップを行います。
- ◆ 重機の不要な空ぶかしは行いません。
- ◆ 鋼矢板や杭の設置は、騒音及び振動の少ない工法により実施します。
- ◆ ダンプ運搬経路で騒音振動のモニタリング調査を実施します。

交通渋滞対策

- ◆ 周辺の交通渋滞の防止に努めるとともに、地元車両を優先するよう努めていきます。
- ◆ 工事期間中は、工事車両の出入口を定め、誘導員を配置し、歩行者や一般車両との交通事故防止に努めます。

10 工事中の環境保全対策及び安全対策

交通安全対策

- ◆ 子供の安全確保や通勤への影響を最小限とするため、通勤通学時間帯を踏まえ、7時から8時30分までは資材運搬は行いません。
- ◆ 工事期間中は工事車両の出入口を定め、誘導員を配置し歩行者や一般車両との交通事故防止に努めます。
- ◆ 安全訓練を定期的実施し、交通に関する注意喚起（交通マナーの徹底、法定速度の遵守、過積載の防止）を徹底します。
- ◆ 日々の車両点検を実施します。
- ◆ 現場内の資機材等が飛散しないよう防止措置を実施します。
- ◆ 土砂を運搬するダンプトラックには、本工事に係る車両であることを認識できるように、九州防衛局と記載された幕等を取り付けます。

現場管理

- ◆ 作業時間は基本的に8時～18時までとし、その前後1時間は準備・片付作業とします。ただし、作業内容や工程に応じて終業時間が変動する場合がございます
- ◆ 工事関係者には送り出し教育、新規入場者教育、危険予知活動など、安全教育を適宜実施し、法令や現場ルールを遵守させ災害防止に努めます。
- ◆ 工事関係者には、違法駐車や歩きたばこ等、工事現場周辺に迷惑が掛からないよう指導を徹底します。
- ◆ 工事期間中は、敷地周辺の状況も確認し安全管理に努めてまいります。
- ◆ 夜間作業を行う場合は、工事エリア外に照明を照射しないよう作業を行います。
- ◆ 作業内容等については、県道沿いの掲示板に表示しお知らせします。
- ◆ 原則、土曜、日曜日は休日といたしますが、工程上やむを得ない場合は作業をさせて頂く場合がございます。

1 1 主に使用する建設機械

※写真は参考です

バックホウ: 土の掘削に使用



10tダンプトラック: 資材の運搬に使用



ブルドーザー: 土の押土に使用



ロードローラー: 土の締め固め(転圧)に使用



1 1 主に使用する建設機械

※写真は参考です

ラフタークレーン：吊り荷作業に使用



クレーン車：吊り荷作業に使用



ユニック車：資材の運搬・吊り荷作業に使用



生コン車：コンクリートの打設に使用

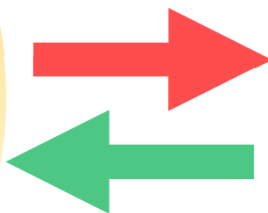


1 2 工事に関する問い合わせ

工事中において、お気づきの点がございましたら、以下の問い合わせダイヤルにご連絡ください。

周辺地域の皆さま
(地方公共団体・地域住民)

工事に関する問い合わせ



対応

九州防衛局

九州防衛局
調達計画課 : 092-483-8825

(平日: 午前8時30分~午後17時15分)

24時間受付

✉ : ks-complaint@ext.kyushu.rdb.mod.go.jp

工事受注者

(土木工事) 青木あすなろ建設・大義建設 特定JV
青木あすなろ建設九州支店
092-411-0011

(建築工事) 鴻池組・松尾建設・大藪組 特定JV
鴻池組九州支店
092-721-5025

1 3 最後に

工事の実施にあたっては、周辺住民の方々への影響を最小限とするよう十分な安全対策を実施し、万全の態勢で工事を進めて参る所存です。

周辺住民の皆様のご理解・ご協力のほど
よろしくお願ひします。